

6 / 12 『イエスは教会のかしら、からだ』 (エペソ 1 : 20 ~ 23)

長谷川 望牧師

* 「神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。」 (エペソ 1 : 20 ~ 22)

キリストは神の右に、すなわち神と同等の地位に着かれた。これはキリストは神であることを示すと同時に、「すべてに従わせる」力が与えられたことをあらわす。キリストがこの力を用いる根底には人々に対する愛があった。

* キリストはこの世の創造者として、造られた全てのものの上に立ち、それを愛しておられる。イエス・キリストを信じている人たちは勿論、信じていない者も、他の神々を信じている者さえ愛しておられ、その上に立つかしらとして君臨しておられるのである。そして、キリストはまた、「教会のかしら」と言われる。それは、キリスト教会とキリストとの関わりは教会以外との関わりにくらべて大変深いということである。教会において人がかしらになったら教会は分裂、破滅に向かう。教会は My church ではなく、Our church でもなく Lord's church (主の教会) であり続けなければならない。

* 「教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。」 (エペソ 1 : 23)

キリストは「すべてのものをあらゆる点で完成させる」方。その方が満ちているところが教会である。その臨在の仕方は特別中身が濃い。教会はそのようなところであるはずだが、実際は罪びとの集まりであるので満ちているとは考えられないこともある。しかし、「教会はキリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。」 (エペソ 4 : 16) とあるように、私たちは一人ひとり大切な神の働き人として神から呼び出された者である。お客さんのように教会生活を送るのではなく、積極的に力を合わせて成長していきたい。